

平成 31 年度 横須賀大津高等学校学校目標

	視点	4年間の目標 (平成 28 年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>①学習意欲や思考力・判断力・表現力等高める授業改善に取り組む。</p> <p>②より高い進路実現に対応した教育課程を編成する。</p>	<p>①高校改革（Ⅱ期）事業初年度として ICT 利活用をさらに活性化させる。</p> <p>②新学習指導要領対応初年度の 2022 年度入学生の教育課程の原案を作成する。</p>	<p>①職員研修や校内ワーキンググループの定例化による情報共有の促進と機器管理方法の改善により、授業での ICT 利活用率を向上させる。</p> <p>②プロジェクトチームを発足させ、教科とやり取りをしながら原案作成に取り組む。</p>	<p>①授業での ICT 利活用率は向上したか。</p> <p>②新学習指導要領対応の教育課程の原案が作成できたか。</p>
2	生徒指導・ 支援	<p>①学校行事・生徒会活動等を通じ、望ましい生徒集団を育成する。</p> <p>②部活動の活性化を図り、安全面に配慮した活動や地域に貢献する意識を高める。</p>	<p>①個に応じた支援体制をさらに充実させ、学校生活における安心・安全に対する意識を高める。</p> <p>②生徒主体の学校行事・生徒会活動や、安全に配慮した部活動ができるように支援し、活動を通じて地域に貢献できる体制等の環境整備をする。</p>	<p>①学年、教科、教育相談コーディネーター、スクールカウンセラー（SC）の連携をさらに深め、組織的に対応する体制を構築する。</p> <p>②学校行事・生徒会活動、部活動のねらいを明確にし、職員・生徒で共有することで、リーダーシップや安全面への配慮、地域貢献意識をさらに向上させる。</p>	<p>①生徒個々の課題に応じて、ケース会議開催等解決に向けた具体的な取り組みを、迅速かつ組織的に実践できたか。</p> <p>②リーダーの育成や、安全に配慮した活動の支援が効果的に行えたか。地域貢献活動がさらに活性化したか。</p>
3	進路指導・ 支援	<p>①より高い進路実現に向けた計画的な学習を促す支援・指導の充実を図る。</p> <p>②進路指導に係る最新の情報収集に努め、組織的な進路指導の充実を図る。</p>	<p>①新しい入試を意識して進路行事等に取り組ませる。</p> <p>②進路実現のために有効性の高い取組から積極的に試行する。</p>	<p>①模試の事前事後指導を実施するとともに、ポートフォリオの充実を図る。</p> <p>②教員対象模試分析会を新設する。</p>	<p>①各学年で実施できたか。5回の定期試験の振り返りが全て実施できたか。</p> <p>②実施できたか。</p>
4	地域等との 協働	<p>①創立 110 周年を節目とした、地域や保護者との新たな協働体制を構築する。</p> <p>②地域と連携した防災活動を推進し、地域に信頼される学校づくりを進める。</p>	<p>①学校運営協議会発足や、校史資料室の利活用等により地域と協働した学校運営を図る。</p> <p>②生徒の主体的な地域貢献活動を推進させるための方策を検討する。</p>	<p>①学校運営協議会や校史資料室運営委員会を活性化させ、地域と協働した学校運営の方策を検討する。</p> <p>②活動支援Gとの連携により、生徒の主体的な地域貢献活動を促す。</p>	<p>①学校運営や教育活動の改善にむけた具体的な提言や実践が行えたか。</p> <p>②生徒の主体的な地域貢献活動が行えたか。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①事故・不祥事防止の徹底と計画的な教職員の OJT を推進する。</p> <p>②施設・設備の管理を徹底するとともに、生徒の学習環境を向上させる。</p>	<p>①計画的に形態を工夫した研修を実施し、職員の事故防止意識をさらに高める。</p> <p>②安全確保、環境整備のため、施設・設備の日常点検を実施する。</p>	<p>①職員主体の事故・不祥事防止研修会を実施する。</p> <p>②日常点検において修繕や改善が必要な個所に速やかに対応する。</p>	<p>①事故・不祥事防止に対する意識が高まり、事故・不祥事を防止したか。</p> <p>②施設・設備の問題点に対して速やかに効果的な対応ができたか。</p>